

令和7年度 土壌汚染対策基金事業報告書

基本方針

土壌汚染対策法に基づく指定支援法人として、「土壌汚染対策基金」の適正な運用に努めるとともに、同基金をもとに次の業務を実施した。

事業報告

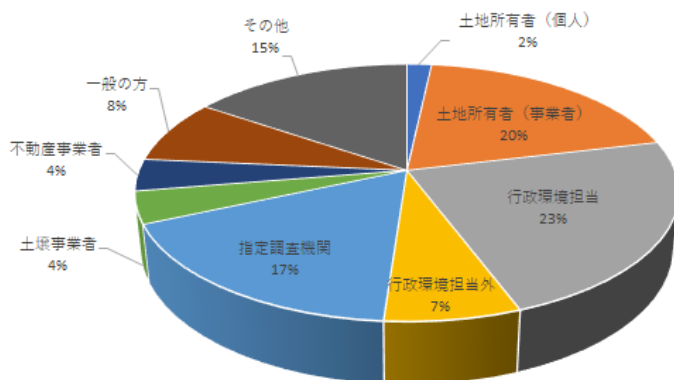
1. 助成金交付事業（経費 0千円）

助成相談の実施やセミナー、イベント等の普及啓発のあらゆる機会を捉え助成金交付事業の周知に努め、都道府県等に対するアンケート調査の実施により情報を収集したが、助成金交付の申請はなかった。

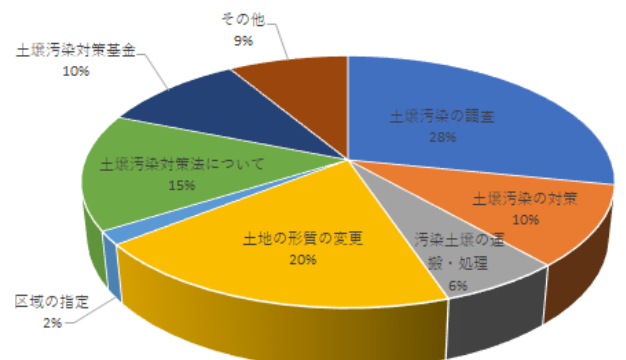
2. 照会・相談事業（経費 2,466千円）

土壌汚染状況調査、要措置区域内の土地における汚染の除去等の措置及び形質変更時要届出区域内の土地における形質変更等について、電話等による照会、相談への対応及び助言を行った。また、土地所有者等向けの相談については、過去の開催実績を考慮して土壌汚染に関する現地相談会を大阪市、展示会のブース来場者を主な対象として名古屋市において開催し、相談・助言の充実を図った。

令和7年度の相談件数は、174件であった。内訳は以下のグラフのとおり。助成金交付相談（助成金交付対象者からの申請手続き等に係る相談業務）は、電話による具体的な相談が18件（土壌汚染の調査・対策に関連した助成金交付相談も含む）あったが、すぐに申請に至る相談はなかった。



相談者の内訳



相談内容の内訳

3. 普及・啓発事業（経費 13,194 千円）

土壤汚染対策法の周知及び土壤環境に関するリスク対応の考え方、土壤汚染対策法に基づく調査及び措置に関する技術的事項等について広く普及啓発を図るため、以下の事業を実施した。

(1) 土壤汚染対策セミナーの開催

土壤汚染対策法において、はじめて届出をされる土地所有者、企業関係者に向けて、土壤汚染対策に関する基礎的知識の普及及び理解の増進のため、環境省及び当協会の主催による「土壤汚染対策セミナー」（現地開催形式）を開催（参加人数計 157 人）した。

また、土壤汚染対策を適切に進めるためには、実際に土壤汚染の調査や対策に係る事業者等が土壤汚染対策の専門技術的な知識を正しく把握していることが重要であるため、土壤汚染の調査・対策に従事する建設コンサルタント会社等に所属する実務者をターゲットに土壤汚染対策に関する浄化技術について「土壤汚染対策技術セミナー」（オンデマンド配信形式）及び現地開催形式セミナーのプログラム内容を中心とした「土壤汚染対策セミナー」（オンデマンド配信形式）を環境省及び当協会の主催により開催（参加人数計 1,515 人、動画視聴回数 5,350 回）した。セミナーのプログラムは巻末を参照。

(2) セミナー等への講師派遣

NPO が開催する土壤環境をテーマとするセミナーへの土壤環境の専門家の派遣（3 回、4 人）を行った。

| No | 日付 | 依頼者 | 開催地 | 講演タイトル |
|----|-----------------|------------------------|------|---|
| 1 | 令和 7 年 5 月 23 日 | NPO 土壤汚染対策コンソーシアム | 大阪府 | 現行の土壤汚染対策法の課題と今後に向けての提案 |
| 2 | 令和 8 年 2 月 6 日 | やまとの環境をよくする会 | 神奈川県 | 土壤汚染対策法の概要と土壤汚染の調査について |
| 3 | 令和 8 年 2 月 20 日 | 兵庫県メッキ研究会 兵庫県鍍金工業組合 | 兵庫県 | ・土壤汚染対策法について（調査と流れ、対策範囲など） ・土壤汚染の調査について（調査の流れ、考え方、方法、概算など） ・土壤汚染と土地取引について（土壤汚染対策法と土地取引など） |

(3) パンフレットの増刷

展示会の出展ブースにおける来場者の増加に伴い、既存パンフレットの増刷作業を進めた。

(4) 展示会における普及啓発

「NEW環境展」（現地開催：令和7年5月28日～30日・会場：東京ビッグサイト東ホール・総来場者数96,192人）、「メンテナンス・レジリエンスTOKYO」（オンライン開催：令和7年7月1日～8月29日・現地開催：令和7年7月23日～25日・会場：東京ビッグサイト東ホール・総来場者数32,392人）、「モノづくりフェア」（現地開催：令和7年10月15日～17日・会場：マリンメッセ福岡・総来場者数23,989人）、「メッセナゴヤ」（オンライン開催：令和7年10月27日～11月28日・現地開催：令和7年11月5日～7日・会場：ポートメッセなごや（名古屋港金城ふ頭）・総来場者数50,705人）、「テクニカルショウヨコハマ」（オンライン開催：令和8年1月13日～2月27日・現地開催：令和8年2月4日～6日・会場：パシフィコ横浜展示ホール・総来場者数：18,032人）に出展し、展示ブース内において、土壤環境及び土壤汚染対策基金のパネルの展示及び土壤環境に関連する冊子等の配布、土壤汚染対策についてわかりやすく解説した映像資料を用いて一般の方への土壤環境への理解に努めた。また、会場では事業者及び広く一般から土壤環境保全に関する相談を受付け、特に一般の方への土壤環境への関心と理解に努めた。

(5) ホームページの充実

ホームページの年度更新、土壤汚染対策に関する映像資料を更新した。

(6) その他

土壤汚染対策基金の事業内容（助成金交付業務、照会・相談業務、普及・啓発業務）の内容と指定支援法人の連絡先を記載した現地展示会用の名刺カードを新規制作し、展示会において配布資料として活用した。また、展示会等で使用する映像資料（土壤汚染対策基金事業のご紹介（照会・相談事業））を新規に制作した。

土壤汚染対策基金の一層の活用、助成案件の掘り起こしを目的に、都道府県を対象にアンケート調査を実施した。回答結果から個別にヒアリングを実施した。

4. 人件費（経費 12,839 千円）

上記の照会・相談事業及び普及啓発事業を円滑に実施するため、指定支援法人の職員が事務局業務を対応した。

令和7年度 セミナープログラム

- (1) 土壌汚染対策セミナー ※現地開催
 神奈川会場（横浜市） 令和7年9月16日（火）

| 所要 | 内 容 | 講師 |
|-----|-----------------------------|---|
| 30分 | 土壌汚染対策法の概要、施行状況と土壌環境行政の最新動向 | 環境省 水・大気環境局 環境管理課 環境汚染対策室 |
| 20分 | 神奈川県における土壌汚染対策の現状と取組み | 神奈川県環境農政局環境部環境課 水環境グループ |
| 45分 | 土壌汚染のリスクと管理 | 横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授 小林 剛氏 |
| 45分 | 中小事業者における調査のポイント | 八千代エンジニアリング株式会社 事業統括本部 国内事業部 地質・地盤部 技師長 鈴木 弘明氏 |
| 45分 | 土壌汚染と不動産取引のポイント | 株式会社東京カンテイ エグゼクティブフェロー G&W 環境ソリューション代表 笹本 譲氏 |

- (2) 土壌汚染対策技術セミナー ※オンデマンド配信
 配信期間：令和7年11月21日（金）～令和8年2月27日（金）

| 所要 | 内 容 | 講師 |
|-----|--|---------------------|
| 45分 | 中性フェントン薬剤を使用した狭隘部の井戸注入によるトリクロロエチレン汚染土壌・地下水の原位置浄化 | 鹿島建設株式会社 鈴木 祐麻氏 |
| 30分 | クロロエチレン類を対象とする加温併用型バイオオーグメンテーション工法 | 株式会社竹中工務店 山崎 祐二氏 |

- (3) 土壌汚染対策セミナー ※オンデマンド配信
 配信期間：令和8年1月21日（水）～令和8年2月27日（金）

| 所要 | 内 容 | 講師 |
|-----|-----------------------------|---|
| 30分 | 土壌汚染対策法の概要、施行状況と土壌環境行政の最新動向 | 環境省 水・大気環境局 環境管理課 環境汚染対策室 |
| 65分 | 土壌汚染のリスクと管理 | 横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授 小林 剛氏 |
| 45分 | 中小事業者における調査のポイント | 八千代エンジニアリング株式会社 事業統括本部 国内事業部 地質・地盤部 技師長 鈴木 弘明氏 |
| 60分 | 土壌汚染と不動産取引のポイント | 株式会社東京カンテイ エグゼクティブフェロー G&W 環境ソリューション代表 笹本 譲氏 |